



# かけはし

## ～前期学校評価のお知らせ～

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご支援とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、PTA総会や学校だよりなどでお知らせしておりますように、本校では、「どの子ども生き生きと学び居心地のよい学校」をめざして様々な取組を行っております。そして、それらについて検証し、更なる改善を図るために、1年に2回の学校評価を実施しております。

今年度も7月に、皆様のご協力によります保護者アンケート、児童1人1人が回答しました児童アンケート、本校教員のアンケート(自己評価)を通して、第1回の学校評価を行いました。

10月2日の第1回学校評議員会にて、評議員の皆様にもそれらを審議していただきましたので、その主な内容を保護者の皆様と地域の皆様にお知らせ致します。

尚、アンケート回答のAは「そう思う」、Bは「どちらかというと思う」、Cは「どちらかというと思わない」、Dは「そう思わない」を表します。また、「対象」の「保」は保護者、「児」は児童を表します。

### 1. 学習に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	勉強の内容がわかります。	59	36	3	2	
	児	じゅぎょう中、集中して取り組んでいます。	51	43	5	1	
	児	じゅぎょう中、進んで話し合い活動に参加しています。	67	27	6	0	
	保	子供は、授業がわかりやすいと言っている。	35	47	6	2	10
(2)	児	たくさん本を読んでいます。	75	20	4	1	
	保	子供は、よく本を読んでいる。	38	29	25	7	1
(3)	児	毎日、家で勉強(宿題をふくむ)をします。(10分間×学年)以上	75	16	8	1	
	保	子供は、毎日家庭学習(宿題を含む)を10分×学年以上している。	49	30	17	3	1

(1) 授業中の様子や学習内容に関しては、90%以上の子(AとBの合計)が意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。更に多くの子が意欲的になるように、今後も教員の授業研究やそれぞれの子に応じた粘り強い指導を続けてまいります。また、新出漢字を身に付けさせるために、指導方法や練習方法を見直したり、「書く力」を向上させるために、朝学習の「井上っ子作文」や授業のまとめの記述に引き続き取り組んだりしてまいります。

(2) 読書に関しては、子供達は学校で本をよく読んでいることが分かります。その様子が保護者の皆様にも伝わりますように、「わたしの本だな」の記入方法などを見直します。

(3) 家庭学習につきましては、80～90%の子がきちんと取り組み、学年の目標時間を達成しているようです。宿題の内容や方法を丁寧に確認したり保護者の皆様と連絡を取ったりすることで、一層の習慣化をめざしたいと思います。

### 2. 学校生活に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	学校へ行くのが楽しいです。	57	34	7	2	
	児	学校にはなかのよい友達があります。	89	9	2	0	
(2)	児	自分から元気なあいさつをしています。	49	40	10	1	
	保	子供は自分からあいさつをしている。	35	46	14	3	2
(3)	保	子供は、生活のきまりや社会のルールを守っている。	37	59	2	1	1
	保	子供は、思いやりの心や優しい心をもっている。	50	47	2	0	1

(1) 学校生活や友達関係に関しては、多くの子が学校生活を楽しく、良い交友関係を築いているよ

うです。一方、CやDと答えた子達の思いを聞き取り、1人1人に応じて適切に対応したいと思います。

- (2) 挨拶については、80%以上(AとBの合計)の子が進んで行っており、習慣化されてきていると言えます。とても大切な生活習慣ですので、100%をめざし、挨拶のキャンペーンを行ったり教師同士の挨拶をより向上させたりしてまいります。
- (3) 子供達の心の成長に関わることについては、どちらもAとBの合計が97%であり、集団生活にふさわしい心が育っているようです。それが様々な活動場面での態度として表れています。

### 3. 家庭生活に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	夜は早くねています。	39	37	17	7	
	保	子供は、早寝をしている。	38	32	24	6	0
(2)	児	好ききらいをせずに食べようとがんばっています。	68	27	4	1	
(3)	保	子供は、早起きをしている。	50	35	13	2	0
(4)	保	子供は、朝ごはんを食べている。	86	12	1	1	0
(5)	児	家ではお手つだいをしています。	53	30	13	4	
	保	子供は、手伝いをしている。	30	46	21	2	1

- (1) 早寝に関しては、A・B共に30%台となっており、目標時刻までに就寝しにくいときがあるようです。また、その大きな理由は「ゲームでの遊び」と「習い事」であることや、学年が上がるにつれて遅くなる傾向のあることが分かりました。睡眠は、昼間の活動を充実させるためにも大切なものですので、子供達にその重要性を繰り返し知らせたり、就寝が遅くなりがちの子と方策を考えたりしてまいりたいと思います。
- (3) 早起きは、Aが50%以上とかなり高くなっています。早寝と同じように、早起きの良さを伝えながら、方策を考えたり助言したりしながら、苦手な子を減らしたいと考えています。
- (4) 朝食は保護者の皆様のお陰で、AとBの合計が100%近くになっています。子供達全員が朝から元気に活動に取り組めるように、BやC、Dの子もAになるようにしたいと思います。お子さんの健康のために、引き続き、朝食のご準備やお声掛けをしていただきますようお願い致します。
- (5) 手伝いは、AとBの合計が8割前後であり、各家庭でお子さんに仕事を任せ、家族の一員としての自覚を育てようと工夫していらっしゃる事が分かります。学校でも、道徳や学級活動などを通して、お手伝いの意味や保護者の皆様の願いを子供達に伝えてまいります。ご家庭でも、これからも子供の頑張りを認め、「ありがとう」「助かった」など自己有用感を高める言葉掛けをお願い致します。

### 4. 異学年交流や特別活動に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	委員会活動やかかり活動には、進んで取り組んでいます。	73	21	6	0	
(2)	児	なかよし班の活動(ミニ遠足、なかよし遊び)は楽しいです。	81	13	5	1	
(3)	保	子供は、成長に伴って、体力が向上している。	55	41	3	0	1

(1)の委員会活動や係活動も(2)のなかよし班活動も、どちらもAとBの合計が94%であり、ほとんどの子が決められた仕事や異学年交流に進んで参加し楽しんでいることが分かります。ただ、学年によって差があり、どちらも高学年になるにつれて、その割合が下がっています。活動することに慣れて意欲が低下したり、異学年交流での自分の役割を明確に掴んでいなかったりすることが原因であるようです。今後は、子供の成長に目を向けそれを1人1人に伝えたり、学年に応じた役割を子供と共に考えたりして、どの学年の子にも充実感を持たせるようにしたいと思います。

(3)の体力向上につきましては、保護者の皆様には判断しにくかったことと思います。水泳の頑張りカードのように子供達の伸びが見える方法を考えたいと思っております。

### 5. 先生や学校に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	保	学校の教育方針や取り組み等が分かる。	31	56	5	1	7
(2)	保	先生は、必要なときに家庭と連携しながら子どもの指導を行っている。	41	46	3	1	9
(3)	保	先生は、子どもの話をよく聞いている。	46	41	2	0	11
(4)	保	先生は、子どものよさや努力を認め、励ましている。	47	41	2	1	9

4項目共、AとBの合計が87～88%であり、比較的高い評価をいただきました。ただ、Aだけを見ますと、高いとは言えませんので、子供への対応や保護者の皆様への伝え方などを見直してまいりたいと思います。

また、この4項目はE回答「分からない」の割合が高くなっております。(1)が7%、(2)が9%、(3)が11%、(4)が9%といずれも1割近くであり、保護者の皆様に学校での様子が伝わりにくい状況であることが分かります。発達段階により、皆様がお子さんから直接聞くことが難しい場合もありますので、学校としてもお伝えする方法を考えてまいりたいと思います。

## 6. 保護者アンケートに寄せられた主なご意見と学校の対応

たくさんの方々からご意見をいただき大変感謝しております。ここでは、紙面の都合上、似ているご意見をまとめて掲載させていただきました。また、保護者の皆様には丁寧な言葉で詳しく書いていただいたのですが、平易な表現に変更したり、短くまとめたり致しました。ご了承ください。

### (1) 読書や宿題、就寝

**保** 子供は読むときは読みますが、読まないときとの差が激しいので、読書をもっと好きになるような取組があるとよいです。

**保** 読み聞かせの時間をほとんどもてなくなりましたが、学校の読書推進の取組で、多く読んだり読書の楽しさを感じたりしているようです。とてもありがたいです。

⇒ 学校では本に親しめるように、また読書量を増やせるように、学級学年だけではなく、図書委員会や図書館司書、図書ボランティアが様々な取組を行っています。今後も引き続き行ってまいります。ご家庭でも、お声掛けなどを続けてくださいますようお願い致します。

**保** 今の学年になって毎日の宿題に時間が掛かるようになりました。夜は遅いときは22時半～23時に寝て、尚且つ、朝も5時や5時半に起きてやることがあります。家の事情により、宿題の前にゲームやテレビをすることも一因のようです。

⇒ 睡眠時間の短さを大変心配していらっしゃることと思います。この件についてお子さんとじっくり話し合い、一緒に約束を1つ決めて、守るように頑張らせてみてはいかがでしょうか。守られたら心から褒めてやり、次はちょっとレベルアップした約束にする、と続けてみるのがよいかと思います。少しずつ自分でできるように応援してあげてください。

**保** 4月よりスポーツ少年団に入り、時間がありません。宿題は金曜日に終わらせて、土日の試合に集中する努力を自分なりにしているようです。が、平日の練習日はなかなかできないのが現状です。

⇒ 少し早いかも知れませんが、宿題(勉強)をしなければならない、スポーツもしたい、という状況は中学校での生活と似ているように思います。まずは、現在のように練習のない日にはきちんと宿題をすることが大切だと思います。次に、文武両道をめざして練習日の過ごし方もう一工夫することが出来ないか、お子さんと再度話し合ってみてはいかがでしょうか。

**保** 習い事をしているためや小さい子の就寝時間にも影響されるため、決められた時間までに寝るのは難しいです。

⇒ 習い事との兼ね合いは本当に難しいことと思います。ただ、大事な成長中の体ですので、習い事のない日は早く寝られるようにしてあげてください。

### (2) 子供達の人間関係

**保** 学年が上がるにつれて、子供が同級生や上級生からの乱暴な言葉遣いや悪口、暴力について言うことが多かった気がします。家では「学校に行きたくない」と漏らすこともあり、「なぜ学校に行かなければならないか」の説明に困ることもあります。

⇒ お子さんが大変嫌な思いをしたこと、保護者の方にもご心配を掛けたこと、申し訳なく思います。お子さん始め関係する子に話を聞き、事実確認を致しました。関係の学級担任を中心に、継続して様子を見ております。気になることがありましたら、すぐご連絡ください。

**保** 「友達と一緒に悪いくとも大丈夫」ではなく、「お互いに止め合える」気持ちをもてるような道徳指導をして欲しいです。「みんな」がそういう思いをもち、中学校でも流されずにいて欲しいです。

⇒ 学校では道徳の時間はもちろんのこと、学校生活全体を通して子供達の道徳性を養うよう努力しております。引き続き指導してまいりますので、ご家庭でのご指導もよろしくお願い致します。

### (3) 教員の対応

**保** 朝、子どもの体調が悪く連絡帳などにその旨を書くことがあります。しかし、連絡帳に何の返信も押印も無く返され、先生は本当に読んでくれたのか、子供は日中体調を崩さずに過ごせたのかが全く分かりません。子供は「先生は連絡帳を見ていたよ」と言いますが。とても忙しいとは思いますが、返信を書くのが無理ならせめてはんこだけでも押しただけると嬉しいです。

⇒ お子さんの体調には常に目を配っておりましたが、ご連絡をいただきました時に連絡帳への返信を怠り、保護者の方には大変ご心配を掛けました。申し訳ございませんでした。今後は、お子さんの体調をより丁寧に把握すると共に、連絡帳への返信を必ず行うよう努めてまいります。更に、保護者の方とは、お子さんの情報を共有してまいりたいと思いますので、気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。

**保** 担任以外の授業を担当する先生や委員会活動の先生で、注意の仕方が適切でなかったり、事実関係を確認せず頭ごなしに叱ったり、一生懸命準備をしていることを認めず叱ったりすることがあると聞き、とても残念です。

⇒ お子さんや担任から話を聞き、事実関係を確認致しました。子供達に事情を尋ねたり意図を伝えたりして、子供が納得する指導をめざしてまいります。

## 7. 教員アンケート結果の主な内容

学校の教育活動を「学力の向上と指導力の向上」「豊かな心と社会性の育成」「健康の増進と体力の向上」「家庭、地域等との連携の強化」「幼保小・小中連携の強化」の5つに分け、それぞれの取組について教員が自己評価しました。その結果、約6割の項目でAとBの合計が90%を超え、約8割の項目で80%を超えており、概ね良好な結果であったと言えます。特に、「授業における書く場面の設定」「異学年活動の推進」など、8項目については高評価となりました。一方、「漢字の読み書きや計算力の定着(特に漢字)」「授業のタイムマネジメント」など、4項目はやや低めの結果となりました。4項目それぞれの原因を探った上で、その改善策を検討し、現在取り組んでいます。その取組について日々振り返り、更に改善してまいりたいと思います。

## 8. 学校評議員会での主なご意見と返答など

**<家庭学習>**教員アンケートに「家庭学習の習慣を定着させ、学年に応じた質と量に取り組ませる」とありますが、目標時間に合う宿題の量を出しているのでしょうか。自学の内容や家庭学習の順番は決まっているのでしょうか。

→ 宿題は、勉強がやや苦手である子供に合わせた量を出し、早く終わった時には自学をするように勧めています。また、自学の参考になるように家庭学習の手引きを作成しています。近いうちに子供達に説明をした上で、配付致します。是非ご家族でご覧ください。また家庭学習は、①宿題、②自学や読書、という順で行うように子供達に指導しております。

**<異学年交流>**保護者アンケート「子どもは、思いやりの心や優しい心をもっている」の結果がA評価50.4%、B評価47.4%と大変高いのが、とても良いことだと思います。それに関わって、異学年交流の遠足は年に1回だけでしょうか。

→ 遠足は、春の仲よし遠足1回だけです。他に、定期的に給食から掃除の時間を利用して、仲よしランチや仲よし遊びを行っています。11月には井上フェスティバルというなかよし班(異学年グループ)による児童会行事を予定しています。

**<挨拶>**教員アンケート「基本的な生活態度(挨拶)を身に付けさせる」のA評価が昨年61%、今年13%と激減しているのが気になります。

→ 昨年度より評価基準を高めを設定したこともありますが、今年度は形だけではなく、挨拶の本質部分である「(挨拶をすると)気持ちが良い」という点に着目した取組にし、それを評価しております。そのため、A評価が減少したと考えられます。

## 9. 前期学校評価全体を通して

今回の学校評価を通しまして、「どの子ども生き生きと学び 居心地のよい学校」をめざす私共は、大変貴重な情報をいただきました。結果として表れている数値と、そこに隠れて(含まれて)いる児童1人1人の状況から、今後の対応を考えることができました。「全体」プラス「個」という視点で、考える機会をいただきましたことを、大変ありがたく思っております。

教員一同、ここにお示ししました各対応を通し、めざす学校に近づくよう努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の取組に対しまして今後ともご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。